

(別紙)

第1種認定品種「吟烏帽子」(酒造好適米)の概要

1 認定品種の種類

第1種認定品種

(作付地域又は用途を限定して県内での作付けを推奨すべき品種)

2 品種名

吟烏帽子 (ぎんえぼし)

3 来歴

(1) 交配組み合わせ

山形酒86号(出羽の里)/黒2065(青系155号)

(2) 育成地

地方独立行政法人青森県産業技術センター農林総合研究所水稻育種開発部

4 品種特性

(1) 熟期は、「華吹雪」「華想い」に比べ、2～4日程度早い「中生の早」。

(2) 耐冷性は、「極強」。いもち病抵抗性は、葉いもちは「強」、穂いもちは「やや強」。

(3) 粒は小さめだが、小さな心白が粒の中心に入り、「華想い」より玄米品質が優れる。精米時の割れが少なく、高度精米が可能で、純米酒から大吟醸酒まで幅広く利用できる。

5 指定の理由

「華吹雪」「華想い(奨励品種)」に比べ、耐冷性及びいもち病抵抗性が強いほか、熟期が「まっしぐら」並からやや早く、県南地域においてより安定した品質を確保でき、県南地域の酒造会社が地元産米を使った高級酒製造が可能となることから、作付地域や用途を限定して作付けを推奨する「第1種認定品種」に指定する。

6 認定品種の指定年月日

平成30年1月19日